

3 競技者の招集について

- (1) 招集場所は室内練習場に設ける。
- (2) 招集時刻は、以下のとおりとする。時間は競技開始時刻を基準とする。

トラック種目	40分前～20分前(競技者係 一次コール) 競技開始10分前(現地 最終コール)
跳躍種目(棒高跳を除く)	20分前(現地)
棒高跳	60分前(現地)
投てき種目	20分前(現地)

- (3) 招集の手順

【トラック種目】

- ①招集は一次コール及び最終コールを実施する。
- ②招集場所では競技者自身がコール用紙に自身の学校番号に○(マル)をする。
- ③3000mの出場者は貸出用のアスリートビブス及び腰ナンバー標識を、800 m・1500 mの出場者は貸出用の腰ナンバー標識を借りること。
- ④上記②と③が完了したら、競技に支障の無いよう注意し現地に移動する。
- ⑤競技開始10分前には現地で最終コールを受け、アスリートビブス等の確認を受ける。

【フィールド種目】

- ①現地コールのみ実施する。
- ②競技者は招集時刻までに現地に移動し点呼を受け、アスリートビブス等の確認を受ける。

【四種競技】

下記にある、『8 四種競技について』を確認する。

- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、競技開始時刻60分前までに欠場届に記入し、受付(正面エントランス)に提出する。なお、用紙は大阪中体連陸上競技部のホームページからダウンロードする。

8、四種競技について

- (1) 招集については、第1種目のみ一次コールを行い、下記の通り実施する。
 - ①第1種目の招集は一次コール及び最終コールを実施する。

②競技開始の40分前～20分前に、競技者自身が室内練習場の競技者係にてコール用紙に自身の学校番号に○（マル）をする。

③上記②が完了したら、競技に支障の無いよう注意し現地に移動する。

④競技開始直前には現地で最終コールを受け、アスリートビブス等の確認を受ける。

⑤第2種目以降は、招集はすべて現地で行い、競技開始10分前に完了とする。

(2) 第1種目のハードルをスタートしなかったか、第2種目以降で1回も試技をしない種目がある場合は、それ以降の種目に参加することができず、棄権したものとみなされる。したがって、最終順位には加えられない。

(3) トラック種目において、各レースの不正スタートは1回のみとし、それ以降に不正スタートをした競技者は失格となる。

(4) 走高跳においては、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。

(5) 砲丸投の試技は、3回行う。

(6) フィールド種目については、30分前から現地での練習を認める。

(8) 第1、第2、第3種目は、種目ごとに「組・試技」が変わるので、プログラムによってあらかじめ熟知しておく。

(9) 第4種目のレーンは、第3種目終了後に発表される。各選手で腰ナンバー標識の1～8を用意しておくこと。